

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12242

特別陳列事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	特別陳列事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	収蔵資料を広く市民に紹介する。		収蔵資料市民に紹介するため、館蔵資料を中心に主に春と冬に特別陳列展を開催する。			
事業内容		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		春季特別陳列展は、館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、夏季特別陳列展は、本市にかかわりの深い先人をテーマに企画展を開催し、冬季特別陳列展は、小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	春季特別陳列展は、館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬季特別陳列展は、小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	新型コロナウイルスの影響により、春季特別陳列展は中止し、夏季と冬季の特別陳列展は実施した。	春季、夏季及び翌年の春季の特別陳列展は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬季特別陳列展は、小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	春季特別陳列展は、館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬季特別陳列展は、小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	206	220	1,453	1,437	1,531	0	354	0	354	0	
伸び率(%)	0%	5.8%	605.3%	553.2%	5.4%	△100%	△76.9%	0%	0%	0%	
人件費	正規職員	3,437	1,279	1,692	1,692	1,673	1,752	1,673	0	1,673	0
	正規職員以外	1,291	960	557	557	1,054	2,085	2,076	0	2,076	0
	小計	4,728	2,239	2,249	2,249	2,727	3,837	3,749	0	3,749	0
国庫支出金	0	0	1,059	520	765	0	177	0	177	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	45	33	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	206	220	349	884	766	0	177	0	177	0	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.16	0.21	0.21	0.21	0.22	0.21	0.00	0.21	0.00
	正規職員以外	0.52	0.28	0.29	0.29	0.33	0.58	0.62	0.00	0.62	0.00
主な予算内訳	印刷製本費666千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
特別陳列展開館日数	日	目標値	83	83	83	83	83
		実績値	87	116	89		
		達成度(%)	104.8%	139.8%	107.2%	%	%
特別陳列展入館者数	人	目標値	3600	3600	3600	3600	3600
		実績値	5945	7802	3661		
		達成度(%)	165.1%	216.7%	101.6%	%	%
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本事業は、収蔵資料を元に開催する事業である。また同事業では、小学校の社会科の単元に対応した教育プログラムを用意し、小学校の団体の受け入れを行っており、例年、市内の小学校の大半が授業で来館するなど、学校教育との連携がとれている。
見直し・改善内容	現在の環境でより学習効果が高くなるよう、案内方法の工夫などを検討する。